

ご存じですか? 「不育症」

妊娠はするものの、赤ちゃんを授かることができない「不育症」。笑顔で赤ちゃんとお出会うために、適切な検査・治療が大切です。

妊娠することが難しい「不妊症」に対して、「不育症」は、妊娠はするものの、流産や死産を繰り返す、赤ちゃんを授かることができない病気のことで、あまり聞きなれない病気ですが、妊娠した女性のうち、約40%が流産の経験があり、約4%が「不育症」と考えられています。決してめずらしい病気ではありません。

「不育症」の原因は様々ですが、適切な検査・治療を受けることで、80%以上の方が無事に赤ちゃんを出産しています。流産に悩む方は、まずは専門医にご相談ください。

私たち持田製薬は、婦人科領域における医療用医薬品の開発に取り組むとともに、女性のQOL向上に貢献してきました。これからも、患者さんや医療現場のニーズに応える医薬品の開発を通して、より多くの皆様健康を応援してまいります。

明日の医療に新しい選択肢を
持田製薬株式会社
〒160-0810 東京都豊島区豊島1丁目1番1号 <http://www.mochida.co.jp/>

A Member of Eisai Group



消化器疾患の患者さまの笑顔。そんな、いい絵を描きたい。



EAファーマは、消化器のスペシャリティ・ファーマです。

EAファーマは、エーザイグループの消化器事業と味の素グループの消化器事業を統合・設立した製薬会社です。

EAファーマ株式会社
東京都中央区入船二丁目1番1号
<http://www.eapharma.co.jp/>

THE KAITEKI COMPANY
三数ケミカルホールディングスグループ

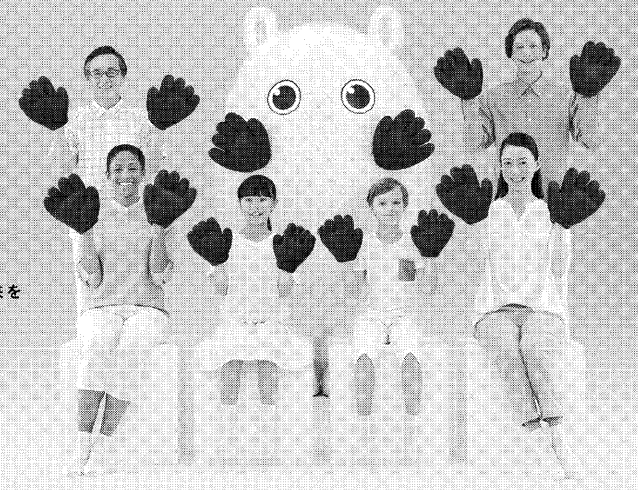
田辺三菱製薬

この手で、未来を。

感じる 描く 動かす
創る 育てる 届ける
そして 抱きしめる

健康で長生きできる未来を
病とその不安を乗り越える未来を
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で
みんなの手で
希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。
www.mt-pharma.co.jp

病と闘う患者のために

製薬各社の疾患啓発活動

患者数の少ない希少疾患は約7,000あるとされるなど、世界には非常に多くの病気が存在する。生活習慣病のように比較的身近に考えられている疾患でも、生活者には正しい知識が伝わっていないことが往々にしてある。症状が悪化する前に医療機関へ足を運んでももらいたい、多量なりとも治療の後押しをしたい。製薬各社はこうした思いから、多様な疾患啓発活動に取り組んでいる。

知識広め治療後押し

公開講座等で情報提供

ファイザー(東京都) 関に神経障害性疼痛を「ユープ」での配信も渋谷区)は5月、神経 啓発するポスターやリ 行った。柳葉さんの力 痛みを持つ患者に ーフレットを配布。疾 患啓発動画も制作し、 対して「神経障害性疼 痛」を啓発する情報提 供活動を、エーザイの 協力のもと始めた。



ファイザーは神経障害性疼痛の啓発活動に俳優の柳葉敏郎さんを用いた。

このイベントは糖尿病の治療に欠かせない運動療法の実践と普及、健康増進を目的に実施。学会参加者やその家族など330人、が、東京都港区の増上寺を中心とした約3・3キロのコースを、ラ イトアップされた東京タワーを眺めながら走った。同様のイベントは10年に始まり、今回で8回目を数える。運動療法へのさらなる理解向上が待たれる。

支援活動・団体を表彰

病と闘う患者や闘い、ファイ(東京都新宿区)と日本脳卒中協会(6月、大阪市北区)で開催された同協会社員総会において、18年度日本脳卒中協会「サノフィ」賞受賞者の発表と表彰式を行った。この賞は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動に貢献した個人や団体の顕彰を目的として、10年に創設された。18年度の受賞者は2団体。「啓発部」で中啓発活動のモデルとなる「高知 stroke nursing therapist (ストローク ナーシング)」が、6月に大阪市北区で開催された日本脳卒中協会「サノフィ」賞表彰式。

「高知 stroke nursing therapist (ストローク ナーシング)」は、6月に大阪市北区で開催された日本脳卒中協会「サノフィ」賞表彰式。この賞は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動に貢献した個人や団体の顕彰を目的として、10年に創設された。18年度の受賞者は2団体。「啓発部」で中啓発活動のモデルとなる「高知 stroke nursing therapist (ストローク ナーシング)」が、6月に大阪市北区で開催された日本脳卒中協会「サノフィ」賞表彰式。



「高知 stroke nursing therapist (ストローク ナーシング)」は、6月に大阪市北区で開催された日本脳卒中協会「サノフィ」賞表彰式。この賞は、脳卒中患者・家族に対する教育・訓練・社会参加への支援活動に貢献した個人や団体の顕彰を目的として、10年に創設された。18年度の受賞者は2団体。「啓発部」で中啓発活動のモデルとなる「高知 stroke nursing therapist (ストローク ナーシング)」が、6月に大阪市北区で開催された日本脳卒中協会「サノフィ」賞表彰式。

患者様の想いを見つめて、薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。病氣とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安、生きることへの希望。私たちは、医師のように診察からお会いすることはできませんが、そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていると思います。治療を続けるその人も、勇気づける存在であるために。病氣を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

がんや血栓の新しい治療薬を届けたい。第一三共が積み重ねてきたサイエンスに新しい切り口を加えて生まれるイノベーション。その先に、希望という名のゴールがあると信じて。

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

Daiichi-Sankyo 第一三共株式会社